

2024年1月～3月
愛知芸術文化センター
アートスペースほか

出会おう！
学ぼう！
シェアしよう！



1回完結の入門編から
本格的な学びまで。
あなたにぴったりのプログラムが
きっと見つかる！

主催・お問合せ
愛知県芸術劇場

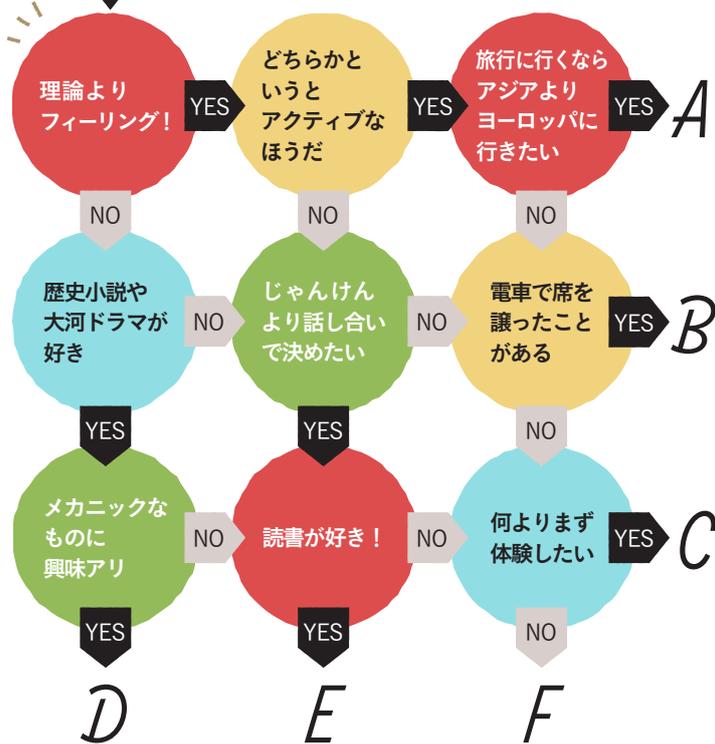
TEL: 052-211-7333 (10:00-18:00) FAX: 052-971-5541 Email: contact@aaf.or.jp
461-8525 名古屋市東区東桜一丁目 13-2 <https://www-stage.aac.pref.aichi.jp/>
※12月29日(金)～1月3日(水) 年末年始休館

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等活性化・ネットワーク強化事業
(地域の中核劇場・音楽堂等活性化)) | 独立行政法人日本芸術文化振興会



あなたにおすすめの講座は…

START 直感で選んでみてくださいね！



A ・映像で見る世界のダンス

B ・誰もが‘行きたくなる’劇場とは?①②

C ・アーティストと社会をつなぐ広場ラボ
・《お出かけ講座》図書館で戯曲を読む会

D ・パイプオルガンの魅力
・現代音楽の楽しみ方

E ・ダンススコア特別講座シンポジウム
踊る文字ーアヴァンギャルドが見た文字と身体
・AAF 戯曲賞関連シンポジウム“戯曲賞”を考える
・戯曲を巡る旅～イブセンからヨン・フォッセへ～

F ・戯曲 / 演出 集中キャンプ
・鑑賞 & レビュー講座 2024 ベーシック編

講座内容は中面 & 裏面を Check!

はじめてさん いらっしやい!! Beginner's Program

参加無料

興味を持ったテーマに気軽に参加できる
1回完結型のスタートプログラムを
プロデューサーたちがナビゲート。
舞台の裏話なんかも聞けちゃうかも…!?

1/27 (土) 13:30 ~ 15:00 パイプオルガンの魅力

愛知県芸術劇場コンサートホールの
“かお”とも言えるパイプオルガン。
音が出る仕組みや楽器の歴史を知ると
コンサートに行ってみたくなるかも!
分かりやすく、楽しく解説します。

ナビゲーター：関本淑乃

コンサートホールに入ると
目に飛び込んでくるパイプ
オルガン。楽器の仕組みや
音色について、この機会に
学んでみませんか?

Music Oneday Recture 音楽講座

1/27 (土) 15:30 ~ 17:00 現代音楽の楽しみ方

20世紀の音楽の歴史で重要なトピックや
作曲家と代表的な曲を、映像や音源で紹介し、
その楽しみ方のポイントをお伝えします。

ナビゲーター：藤井明子

旋律も和音もない音楽はどのように
聞けばいいかわからないと思って
おられる現代音楽アレルギーの方は
多いかもしれません。

ちょっとした知識と聞き方のポイントを知ること
で、楽しみ方がわかり、音楽の世界がさらに広がります。
お楽しみに!

体験あり

1/28 (日) 13:00 ~ 14:30 映像上映 15:00 ~ 17:00 クロストーク 映像で見る世界のダンス

いま世界で最も面白いダンス&バレエ作品を上演している世界的なダンスカンパニーのひとつ、NDT (ネザーランド・ダンス・シアター) の舞台の記録映像を特別上映。世界の振付家たちのダンスを紹介します。

ナビゲーター：唐津絵理

2024年7月、5年ぶりに来日公演を行うNDTで上演する作品にフォーカスした上映会です。ダンサーたちの鍛えられた肉体を通して表現される圧倒的な舞台を迫力あるスクリーンで上映します。
ウィリアム・フォーサイス、ピーピング・トム、ダミアン・ジャレ、クリスタル・パイトなど、世界最高峰の振付家の作品やリハーサル風景の映像を見た後、これらの作品の魅力についてお話しします。

NDTの魅力とは、どっしりとしたクラシックバレエの基礎の上に、自由度の高いコンテンポラリー・ダンスのテクニックを持つ最高水準のダンサー達がいて、世界最先端の振付家の作品をバリエーション豊かにしてくれることである。そのためクラシックバレエのファンにも、尖ったセンスのコンテンポラリー・ダンスのファンにも、広くアピールしてきた。しかも多くは20分前後の作品なので、一晩でいくつもの作品を鑑賞することができ、お得感もハンパない。特に今回の来日は珠玉の作品が揃い、現在の世界のダンスを俯瞰できるスペシャル・プログラムとなっているのである。

ゲスト：乗越たかお
(作家・ヤサぐれ舞踊評論家)

1/27 (土) 18:30 ~ 20:30 戯曲を巡る旅 ～イプセンからヨン・フォッセへ～

近代戯曲の父と呼ばれるイプセンから、ノーベル文学賞受賞で話題の劇作家ヨン・フォッセまで、戯曲を巡る旅に出かけましょう!

ナビゲーター：山本麦子

読書が好き、という方でも「戯曲は読んだことがない」という方が多いのではないのでしょうか。愛知県美術館に收藏されている「イプセン『幽霊』からの一場面」についても少し詳しくなれるかも…!?

「お出かけ講座」 図書館で戯曲を読む会 ～気軽にプチ演劇体験～

3/2 (土), 9 (土) 各日 10:00 ~ 12:00
会場：幸田町立図書館 2階学習閲覧室

戯曲を声に出して読んでみませんか。
新美南吉の戯曲『ランプの夜 —学芸会のための一幕劇』などを予定しています。

主催：幸田町立図書館 協力：愛知県芸術劇場
詳細は幸田町立図書館ウェブサイトでご確認ください



体験あり

Dance Oneday Recture ダンス講座

体験あり

1/6 (土) 13:00 ~ 18:00 誰もが“行きたくなる”劇場とは? ①

障がいの有無にかかわらず、誰もが楽しくすごせる劇場って良いですね。劇場のアクセシビリティ (近づきやすさ、使いやすさ) について共に考えてみましょう。

協力：名古屋市身体障害者福祉連合会

3/20 (水・祝) 13:00 ~ 18:00 誰もが“行きたくなる”劇場とは? ②

近年、地域に住む日本語を母語としない方や外国籍の方も増えてきています。皆さまも身近に感じる機会があるのではないのでしょうか。劇場で行われている多文化共生に関する取り組みについて紹介します。

協力：公益財団法人 名古屋国際センター

申込方法、会場

図書館で戯曲を読む会 (3/2,9) は除く

申込方法 右記QRコードより申込フォームにアクセスして、必要事項を入力してください。劇場ウェブサイトからもアクセス可能。
※予約優先、当日空きがあれば参加可能。
※ご記入いただいた個人情報は愛知県芸術劇場(公益財団法人愛知県文化振興事業団)にて厳重に管理し、本事業を運営するために使用し、それ以外に使用しません。



会場 愛知芸術文化センター 12階 アートスペース A

アクセス 東山線または名城線「栄」駅下車、徒歩5分 (オアシス21 地下連絡通路または2F 連絡橋経由) 館内エレベーターで12階までお越しく下さい。



演劇講座 Drama Oneday Recture

ダンススコア特別講座シンポジウム 踊る文字—アヴァンギャルドが見た文字と身体

3/9 (土) 13:00 ~ 17:00

アートスペース A

19世紀末から20世紀初頭に新しい人間像、身体像を掲げて興隆したモダンダンス。その新しい身体のイメージは、モダニズムやアヴァンギャルドの文学者に大きなインパクトを与えました。ドイツ・フランス・チェコ・日本の前衛について、最新の研究発表を紹介します。



司会・コメンテーター：西岡あかね (東京外国語大学大学院総合国際学研究院 准教授)
コメンテーター：唐津絵理 (愛知県芸術劇場 エグゼクティブプロデューサー)

発表者 (予定)

山口庸子 (名古屋大学大学院人文学研究科 准教授)
譲原晶子 (千葉商科大学政策情報学部 教授)
熊谷謙介 (神奈川大学国際日本学部 教授)
大平陽一 (天理大学国際学部 教授)
塚原史 (早稲田大学名誉教授)



参加無料・申込不要

AAF 戯曲賞関連講座 戯曲 / 演出 集中キャンプ

アートスペース C、D ほか

ナビゲーター：萩原雄太 (演出家、第13回 AAF 戯曲賞受賞)
講師：各コース日替わりでゲスト講師が登場します

戯曲コース 2/29 (木) - 3/3 (日)

戯曲とは文学でしょうか？それとも設計図？あるいはスコア？それらのどれでもあり、どれもない「戯曲」というメディアについて、仮に「言葉が書かれたもの」と定義してみます。わたしたちは今、どのような「言葉」を使っているのでしょうか？「言葉」は今、どのような役割を果たすのか？じっくりと言葉に向き合う4日間を過ごしましょう。

※3/3AAF 戯曲賞関連シンポジウム「戯曲賞を考える」参加



演出コース 3/7 (木) - 10 (日)

演出とは、つまり「よく読んで、リアライズすること」ではないでしょうか？この時、読む対象は戯曲だけではなく、小説や詩などの文学作品、楽譜、絵画、身体、街など、あらゆるものが含まれます。それをよく読む。すごく読む。深く読む。そして、別の形にリアライズする。演出という沃野から、あなた自身の方法を掴むための道具を提供します。

※3/9 ダンススコア特別講座「踊る文字—アヴァンギャルドが見た文字と身体」参加

<参加料> 各コース 一般 3,000円 U35 1,500円

※要申込。申込方法、各日の日程などの詳細は下記ウェブサイトにて。

AAF 戯曲賞関連シンポジウム “戯曲賞” を考える

3/3 (日) 14:00 ~ 17:00

アートスペース A

ナビゲーター：山本麦子

愛知県芸術劇場が主催する AAF 戯曲賞は上演を前提とした戯曲賞です。日本国内を見渡すと「出版社の戯曲賞」「地域の戯曲賞」など様々な戯曲賞があります。コロナ禍を経て演劇界が揺れる今、戯曲賞には何が求められているのか…。普段表に出ない戯曲賞運営者たちが本音を語ります。

What is "drama"...?



参加無料・申込不要

各プログラムの詳細、申込方法は
劇場ウェブサイトをご確認ください



Step Up Program

一歩踏み出してみたい…
何かに打ち込んでみたい…
モヤモヤを抱えている…
そんなあなたのための本格的・実践的な
集中プログラムです

鑑賞 & レビュー講座 2024 ベーシック編 2/3 (土), 4 (日), 10 (土), 11 (日・祝)

土曜日 13:00 ~ 20:30 日曜日 10:00 ~ 17:30

アートスペース C ほか

舞台を観た感動を言葉で残したい！
と思ったことはありませんか。

レビューとは何か、基礎知識 (ダンス・演劇・音楽の歴史)、執筆と推敲のプロセスの体験、編集などを総合的に学ぶ実践的なプログラムです。

ナビゲーター：岡見さえ (舞踊評論家、共立女子大学准教授)
竹田真理 (舞踊批評家)

<参加料> 通し受講 (一般) 3,000円
通し受講 (U35) 1,500円

※要申込。申込方法はウェブサイトにて。

※ダンス史・演劇史・音楽史等の講座は1コマ (120分) 単位での受講可能。詳細は「鑑賞 & レビュー講座 2024」チラシ・ウェブサイトにて。

アーティストと社会をつなぐ 広場ラボ

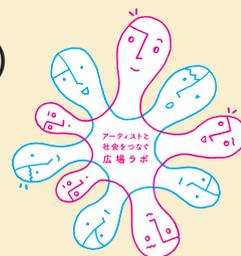
3/22 (金) - 24 (日)

アートスペース A

舞台芸術ワークショップのファシリテーター
& コーディネーター人材養成講座「広場ラボ」。
今回のテーマは多文化共生と多様性。
劇場はどのような居場所になり得るのか、
一緒に考えていきましょう。

ナビゲーター：

吉野さつき (ワークショップコーディネーター・愛知大学文学部教授)
梶田美香 (名古屋芸術大学教授・名古屋大学、南山大学非常勤講師・博士 (人間文化))



体験あり

<参加料> 2,000円

※要申込。
申込方法・各日の日程などの
詳細はウェブサイトにて。

希望者は小ホール参加型イベント4/27 (土)
での実践編も参加可能

